

交渉結果報告書

市長公室人事課

交渉内容 2025年夏季重点要求書に対する回答等について

交渉日時 令和7年6月26日（木） 15時00分～17時15分

交渉場所 本庁舎8階大会議室

交渉出席者 当局側 川口副市長 秋元市長公室長 柏木市長公室副部長 岡野人事課長
野口人事課副課長 佐藤人事研修係長 加島給与係長

組合側 福田執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計 8人

| 概要 | 要 |
|-------|--|
| 組合の主張 | <p>2025年夏季重点要求書に対する回答書の提出等を行った</p> <ol style="list-style-type: none">① 通勤手当について、現在の算定方法が適正かどうかも含めて検討されるべき。② 欠員職場において、正職が年度途中で配属されて欠員が解消する場合、代替として配置していた会計年度任用職員の任用を必ず終了するのではなく、時間外の状況などを見て継続を検討してもらいたい。③ 近年の夏は特に現業職員にとって危険な暑さになっており、休暇休息の在り方検討や空調整備などの対応が必要。最低限の対応ではなく、問題なく公務が遂行できるよう最適化するという観点で対応すべき。④ 近年、年度当初から欠員が続いており、職員の負担が大きい。欠員の無いよう、余裕を持った採用をしてほしい。 |
| 当局の主張 | <ol style="list-style-type: none">① これまでの交渉を経て今の算定基準となり、それを条例化しているところであるが、適正な在り方については検討を続けていきたい。② 正職配置により欠員が解消した場合、代替配置していた会計年度任用職員の任用終了は原則と考えている。それとは別の話として、時間外増加などの問題があれば対応を行う。③ 施設が老朽化する中で計画的な修繕に取り組んでいるが、十分な整備ができていない施設があることは把握している。全体的な予算や計画がある中ではあるが、できる限り対応したい。④ 全国的に人材確保が難しい状況の中、宇治市においても同様に苦慮している部分ではあるが、欠員が生じないように努めたい。 |